

We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの方の参加をお願いします。

Let's Access!!

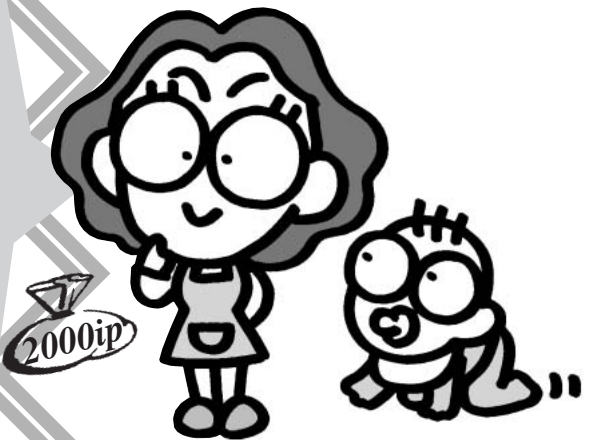
Shouting!

今月の高座

1月28日の日曜日、子供と主人と3人で大阪国際女子マラソンのテレビ放送を見ていた時のことです。番組中、「この模様はインターネットでもご覧になれます」とテロップが流れ、主人は中継を見ようとマックの前で四苦八苦始めました。子供をほったらかしにして、熱中する主人。サーバーが混んでいてまったくつながらないとか言ってます。しばらくして「映った!」と喜んでいるのを見ると、ちっちゃ

な画面がカクカク動いているだけ。思わず、私はどなってしまいました。「テレビでやっているのにそんなの何がおもしろいの? 電話代まで使って!」近頃は主人のインターネット遊びを黙認している私ですが、子供の世話を怠って無駄なことをするので腹が立ちました。こんなおろかな主人に何か言ってやってください。

(藤本紀子さん)



編集部

テレビで見られるものをなぜわざわざインターネットで見る必要があるのか。お話はこちらでもありますが、ご主人の気持ちもよくわかります。その日は編集部もインターネットの映りそうで映らない画面に一喜一憂し、テレビでランナーの名前を確認してはまたパソコンのモニターを見ていました。こんな経験もインターネットビブルならではの、今しかできないことでしょう。お子さんもけっこう喜んでたりして。ねえ、ご主人....



ご主人

たしかに、あの画質、音質ではテレビには到底かないませんよ。しかし、最初のテレビ放送で「イ」の文字(でしたっけ?)が表示されたときも、同じだったのでしょ。その彼女も、先日「Media Gate Telefin」というサービスで、クリントン大統領夫人証人喚問のニュースを見たときは、感心していました。こっちのほうが、画質、映像ともに良好だったんです。これからは、マスメディアの形が変わってくるでしょうね。(藤本幸生さん)



Chatting!

声を聞かせて

工業高校の教員です。今春卒業生を送りだしほっとしていますが、やはり別れは寂しいものです。ロボットの制作では生徒とともに徹夜し同じ釜の飯を食い、苦楽をともにした仲間でもあります。私のパートナーであり愛弟子たちです。卒業に当たり、私の電子メールアドレスの入った名刺を全員に渡しました。それぞれの就職先より必ず近況を報告するようにと、そしてメールでこれからも連絡を取っていくようにと話をしました。卒業生からのメールがいつ来るか待ち遠しく思える今日この頃です。

(長崎県立鹿町工業高等学校)

電子工学科教諭 大串春夫)



昨日山梨県で地震がありました。ふと思つて山梨のプロバイダーのホームページ(山梨インターネット)をのぞきに行ったら、地震の情報が載っていました。なかなか早いプロバイダーの対応に驚きました。

(牛腸吉紀)



4月号の小冊子『目で見える世界のインターネット』はもっと早く付録にしてほしかった。というのも、私の会社で論文作成とその発表を行う機会があったのですが、わたしはインターネットおよびWWWを主題にしたのです。そのとき、付録に書かれていたような数値を使えば、もっと説得力のあるものができたのではないかと思ったわけです。また、もう少し早ければ、大学生の卒論などにも有効だったと思うのです。編集者の方々も大変でしょうが、タイムリーな情報をどんどん提供してください。

(加藤健二)



昨年、ちょっとした事故で救急車に乗せられて病院へ運ばれました。今年に入って、ひよんなことからそのときの担当医とインターネットでメール交換を始めたのですが、忙しくてなかなか病院へ行けない私には、メールで回復状況を伝えたり、リハビリのアドバイスをしてもらえて大変便利です。

(吉川万里子)



ニフティサーブのIDで、InfoWebに接続できるサービスをテスト的に使っているのですが、どうもつながりにくくて困っています。接続先に地元のアクセスポイント(フェニックス回線)を選んで、フェニックスにはすぐにつながるのですが、そこから先のInfoWebにつなげようとすると「ホストビジー」で断られてしまうのです。電話回線の話中でつながらないのであればまだ救いがあるのですが、いったんフェニックスにつながってしまうとNTTへ10円30銭を「寄付」しなければいけないのは、悲しいものがあります。現在はBMのインターネット接続サービスを使っているのですが、アクセスポイントが市外にしかないので、InfoWebに乗り換えようかと思っていたのです。しかし、こうつながりにくいのであれば、乗り換えはできないと考えています。

(北野明)



投稿大募集

Shouting!

インターネットを使っている人に対して声を大にして言いたいこと、またはインターネットを使っていて頭にきたことや納得がいかないことはありませんか。たとえば
 「なぜ、うちの町にはアクセスポイントがないんだろう」
 「なぜ、接続回線速度を非公開にするプロバイダーがいるんだろう」
 「うちの会社は一部の人間にしかメールアドレスをくれない。変じゃないか」
 「うちの学校もインターネットに接続してほしい」

そんなあなたの体験にもとづいたShouting、心の叫びをWe Love Internet Peopleのコーナーに送ってください。とくにプロバイダー、学校、編集部、会社の上司、パソコンメーカー、家族など、気持ちを伝えたい相手を具体的に示してください。こちらから投稿内容をその相手に送り、答えをもらって掲載します。

Chatting! NetSurfing! etc.

- ・あなたのインターネット体験記
 - ・お気に入りのWWW情報
 - ・メーリングリストの会員募集
 - ・面白いドメイン
 - ・謎のサービス
 - ・インターネットで買った変なもの
 - ・インターネットビジネスのアイデア
- インターネットに関することなら何でもいいので送ってください。インターネットポイント(P324)発行しています。

宛先アドレスは ip-box@impress.co.jp

ラフォーレ原宿をデジタル化する

クリエイティブディレクターの しばやしユカさん



Q: サイバーラフォーレはどんなふうにしてスタートしたんですか。

しばやし: もっと早く立ち上がるはずだったんですけど、ラフォーレの人たちも初めてなのでいろいろ手間取って、3月によやくスタートしました。とりあえずテストランという感じで、30店舗の予定だったんですが、今のところ22~23店舗です。ラフォーレ原宿のオーナーの森ビルが進めている「サイバー66」という六本木の再開発とインターネットをからめたプロジェクトがあるんですが、その中に「デジタル原宿」という原宿をデジタル化する、伊藤穰一さんなんか絡んでいるプロジェクトがあります。その1つがサイバーラフォーレです。

Q: オンラインショップというだけじゃなくて、オンラインマガジンとか情報発信の部分もありますね。

しばやし: 最初はショッピング目的にスタートしたんですけど、デジキャッシュの導入が遅れて本格的なオンラインショッピングになっていないので、編集記事にも重点を置くように変わってきています。出店している

ラフォーレのショップの人たちもどんだん夢が広がっちゃって、原宿駅前にチューリップを置いた話を載せてくれと言われたりして、タウン誌みたいな感じになりそうです。

Q: ラフォーレ原宿のショップのほうは、インターネットについてはあまり知らなかったと思うんですが、ページを作るのにはどんな苦労がありましたか。

しばやし: お店の人が持ってくる写真は日付けが入っていたり、Tシャツを手でつかんで撮っていて切り抜けないとか、モデルさんが写っているショーの写真だったりして使えないとか、そういうところから大変でした。HTMLには限界があることを知らないから、インターネットは何でもできるってイメージがあるようで、ここをこう動かしてここで商品がこれに変わってとゲームを作るような壮大なことを言われたりします(笑)。それから、ショップもアイテムも多いので、最後は力作業で大変でした。

Q: ショッピングモールの入り口はブランドのロゴを集めたクリッカブルマップになってい

今年3月に、「サイバーラフォーレ」という新しいインターネットショップがオープンした。インターネットのショップというと限定されたジャンルというイメージがあるが、これは原宿にある若い女性向けのファッションビル「ラフォーレ原宿」のデジタル版だ。有名ブランドがそろったオンラインショップは、国内では大変珍しい。このホームページを企画段階からほとんど1人で作り上げたのが、しばやしユカさん、28歳だ。しばやしさんは、西武百貨店や資生堂の広告のコピーを書き、エッセイ集も出版している。サイバーラフォーレはどんな経過をたどってできあがったのか、お話をうかがった。

ますし、それぞれのショップのフォーマットも共通になっていて、凝った作りですね。

しばやし: ええ、でも苦労したんですよ。子供向けのブランドから30代の大人向けのブランドまで幅があるので、統一感を出すのが難しいんです。あまりポップにしても、うちのブランドはもっと大人っぽいからと言われるし、逆に中学生向けのショップからはもっとポップにしてくれと言われたり。全体の統一のためにバックにロゴを敷いたんですけど、1店だけうちはどうしてもペイズリーにしたいとか、ショップごとの要求が出てきちゃうんです。アパレル関係の方はけっこうインターネットに興味があるみたいですね。

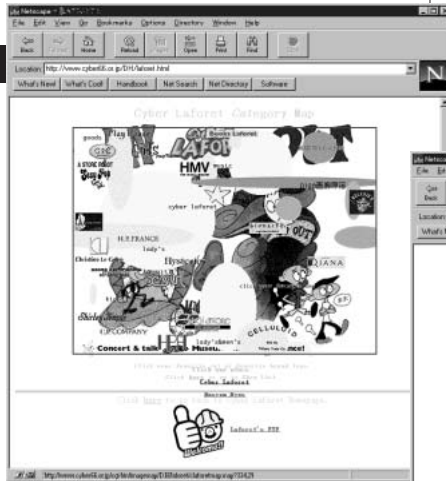
Q: ラフォーレ原宿はインターネットワールドエキスポのパブリックアクセスポイントになっていますね。

しばやし: 2階と5階にパソコンが置かれたのかな。これでショップの人にもページを見てもらえるようになったので、これからかなという感じです。5階は女子高生をターゲットにしたインターネットカフェみ

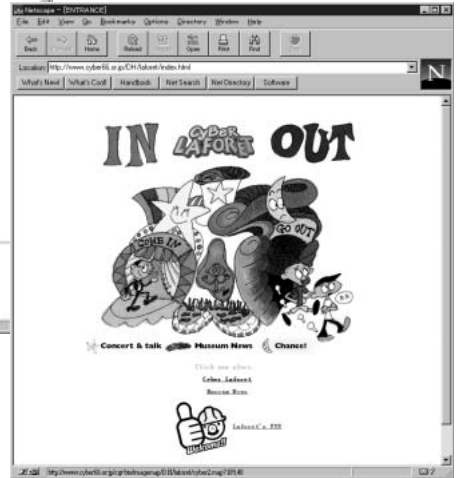
たいになっていて、「おやじ禁止マーク」とか作って貼っちゃって。おやじが名刺交換しているシルエットに「No Oyaji Thank You」と書いてあったんだけど、これはラフォーレから苦情が出てははずしたいです。今、高校生をターゲットにしているところが多いですね。高校生向けのインターネット雑誌が出るという話もあるし、インターネットで高校生からスターを出そうという動きもあるし。でも、それもおやじの発想から出てきてますから、本当に高校生がふりむいてくれるのかしら。

Q：元々広告のコピーを書いていたのが、インターネットに関わるようになったのはどういうきっかけからですか。

こばやし：コピーも書いていましたけど、クリエイティブディレクターとして渋谷ロフトのオープンや『Hanako』の創刊をやってきました。エッセイを書いてマガジンハウスや扶桑社から単行本を出したりして、その出版活動の流れでバイオニアのCD-ROMとかレーザーアクティブの仕事をするようになって、横尾忠則さんのCD-ROMを作ったりしました。インターネットとの出会いは、そのちょっと後くらいだと思います。その頃から、女の子もののデジタル商品をすごくやりたかったです。女の子向けのCD-ROMといっても、実際は男の人が作ったもので、猫とかペンギン見せておけば女の子向けみたいな固定観念がある。周りでもパソコンを買う女の子が増えているし、男の人はビジネスに使うというのがあるけど、女の子は自分自身のために買う人が多いでしょう。女性ユーザーが増えたらインターネットも変わるんじゃないかと思うんです。とりえず、ショッピング関係だと、ただ面白いというだけでなく、実用性もあって形になりやすい。今までも遊びで個人のホームページを作ったりしてましたが、今回のように全部任されてやるのは初めてです。



サイバースタイル
 URL <http://www.cyber66.or.jp/DH/laforet/index.html>



Q：HTMLを書いたり、スキャナーで画像を読み込んでフォトショップで処理したりもしているんですね。

こばやし：コンピュータは正式に基礎から勉強したわけじゃないので、思わぬ初歩的なことを知らなかったりします。こういうものが作りたいとか、こういうページが作りたいというのから始まって、そのために本を読んだり人に教わったりしました。言葉でこういう感じの画があるとかわいゝとか言ってもなかなか伝わらないし、人に頼むのも難しい。それで、やっぱり自分でできるといいなあと。でも、試行錯誤ばかりで大変です。とくに、HTMLはボタンを使わないとフォントが使えない。こういう感じの色でこういうふうにとっても、見る人のブラウザの設定で字の大きさとか全然変わっちゃう。色なんかもネムのために作っても、パチパチの色になっちゃったりしますよね。

Q：これからサイバースタイルはどんなふうに進めていく計画ですか。

こばやし：今年中にはデジタルでショッピングができるようになると思います。月1回はアイテムをリニューアルして、年2回はページ全体のイメージを全部入れ替える予定なので、けっこう大変です。それから、サイバースタイルとは別に、『P-STYLE』というブランド物中心の通販雑誌のホームペ

ージを立ち上げる予定があります。あと、恵比寿と代官山の間くらいのところに、友だちと「ゲスト」というお店を出したんです。1階がカフェで2階がギャラリー。パソコンが置いてあって、犬もいてペット同伴でも行けるお店です。手作り壁を塗ったり、排水工事までしたりして大変でした。つぶれた屋台村から安く厨房器具を買ったりしたんだけど、けっこうお金もかかりました。

Q：そのお店もホームページを開く予定があるんですか。

こばやし：そうですね。デジタルだけで完結するんじゃなくて、ホームページがあって、実際のスペースがあって、そこでフリーペーパーも発行してたりとか、リアルな部分とバーチャルな部分の両方があるものもいいですね。デジタルをやっているとアナログがすごくかっこよく見えてくるんです。手書きの線がかっこいいとか、ネットでアクセスするだけじゃなくて実際に足を運ぶとか、アナログもデジタルも含めた総合的なものが増えていくといい。最近本とかすごいと思うんです。単に紙が好きというのがありますけど、触感を使ったり、携帯できたり、目で見るだけでどこまで読んだかわかったり、本のほうがずっとマルチメディアじゃないかという気分です。デジタルをやればやるほど、紙メディアの良さを感じている人って多いみたいですよ。（取材・文＝鈴木康之）

Net Surfing!

読者が作るイエローページ

もうすぐ待ちに待ったゴールデンウィークが始まります。
出かける前にインターネットで行き先の情報を検索してみてくださいか？

あきらめる前にここを見よう

URL <http://www.asahi-net.or.jp/hw8s-andu/>

最近、とみに髪が薄い人が増えてきた世の中ですが(私のいるソフト業界は特に多い気がします) そんな人を勇気づけてくれるうれしいホームページです。かなり髪の薄くなったAuthorが自力で育毛を行い、その過程で得たノウハウが満載です。さらに最近では毛髪診断士のページへのリンクも貼ってあります。かという私も若干ですが髪が薄くなってきたので、このページを定期的に見て日々の参考にしています。



(匿名希望)

自薦「パチスロ倶楽部」

URL http://www.bekkoame.or.jp/k_nagao/

まだまだ少ないパチスロホームページを開局しました。できたばかりなので情報は少ないですが、毎日更新しています。現在は、業界最新情報、パチスロ用語辞典、画像で見るパチスロカタログをやっています。今後はパチスロ探偵団なんてのを始めようかと思っています。これは全国のパチスロファンを集め、全国規模で情報をやり取りしようとするものです。一度遊びに来てください。



(K_nagao)

ディレクトリーサーバーに自動登録

URL <http://www.qwiklaunch.com/>

ここはあなたの作ったホームページを主なディレクトリーサービスに自動的に無料で登録してくれるページです。あなたの氏名、連絡先、ホームページのURL、そのページのコメントなどを入力すると、Yahoo、Lycos、Altavistaなどの有名な15のサービスに自動的に登録してくれます。本格的に自分のページを宣伝したいという人のために有料サービスも

用意されています。



(Taiga Aoki)

インターネット上でポケベル?!

URL www.att.com/truechoice/virtual/virtsam.html

このサイトは、米国AT&T社が製作したインターネットポケベルです。とは言ってもただの掲示板と言ったらそれまでですけど、3月初旬現在、まだほんの少ししか登録者がいません。E-mailアドレスやホームページのURL紹介には向いているのではないのでしょうか。私は、E-MailとURLを紹介してきました。



今日は何の日?

URL <http://cecgw.cec.co.jp/cgi-bin/hasegawa/today.sh/>

今日は何の日かを教えてくれます。単に歴史のお話ではなくて、雑誌類の発売日とか、何たら週間だとか、有名人の誕生日とかも教えてくれますので、毎日楽しめます。



(小林孝次)

一般常識漢字トライアル

URL <http://www.commerce.or.jp/omikuji/khello.html>

日本語は得意な人もそうでない人も「漢字」にチャレンジしてみましょう。毎回、異なった問題が出ますので何度でも腕試しができます。おっと、辞書を使っているあなた、ズレはなしですよ。



(高崎直樹)

メールアドレスの検索サービス

URL <http://bigfoot.com/>

個人的にメールアドレスを登録することが



安藤茂夫さんの育毛チャレンジ報告

でき、オプションで自分の関連情報も登録することができます。名前による検索のほか、自主的な登録情報を用いたさまざまな条件の検索ができます。なお、スタートしたばかりでかなり混雑している可能性がありますのでご注意ください。



(Makoto MORIKAWA)

ポケットティッシュ資料館

URL <http://www.beingnet.or.jp:80/pub/tos/pocket.html>

町でよくもらうポケットティッシュですが、何と370種類以上も集めているようで、全部は掲載してませんが、個人のホームページならではの面白い情報です。コメントの付け方も独特なので、一度のぞいてみたいと思います。



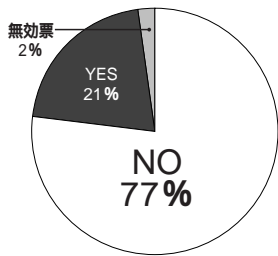
(araki yutaka)

おまけ



「ポケットティッシュ資料館」の作者のページを見ていたら「君が代を歌おう」ページを発見。いっつシュールっ!

URL <http://www.beingnet.or.jp:80/pub/tos/kimi.html>



だれでも気軽にアクセスできるってことは子供から大人までどのような人が見るかわからない、すなわち、そこら辺の道にわいせつな看板を立てるようなもの。それが小学校や幼稚園の目の前でもおかまなしに、そんなことが許されるだろうか？ インターネットを単なるパソコン通信と考えず、公共の道路と考えてほしい。その道路に看板が立っているが、これがホームページである。このように考えるとわいせつ画像は取り締まるべきである。(30歳、会社員)

インターネットと言えども社会の一部なのでから社会のルールには従うべきであると思う。が、インターネットのしくみ上、このような問題はもはや国内法では処理できない、国際法で処理すべき問題であると思う。そのことを踏まえ、たうえで、わいせつ物を無制限に認めるような国は少数であることからみても、ある程度規制されるのは当然だと思う。もし、規制しないよ

2月の結果報告

テーマ ホームページのわいせつ画像は取り締まるべきか？

インプレスのWWWサーバーではさまざまな社会問題についてより多くの人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、世論調査を実施しています。このコーナーでは寄せられた意見の一部を紹介し、このほかの意見はインターネットでご覧ください。

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

うにするのであれば、少なくとも国内法を改正して、さらに海外からのアクセスを規制しないと筋が通らないのではないか。(22歳、大学生)

imano yononaka jyouhou ga attewaiikenai monomade tobikatteirunodewa naidarouka (20歳、senmon gakusei)

インターネットは雑誌などと同じく誰の目にも触れる可能性のあるメディア。雑誌でも内容にちょっと問題あり系はビニールを被せて店頭に並べられている。インターネットのホームページにもビニールが必要と考えます。

(44歳、TVディレクター)

ホームページの内容は個人の自由であると同時に、内容が法や道徳に抵触すれば取り締ま

られるものだと思います。極言すれば「法を犯すのも個人の自由」ということです(少し意味は違いますが)。ワイセツ画像を流した者は取り締まられるべきですが、単なる回線提供者であるプロバイダーにその責はないと考えます。見たくない人あるいは見せてはいけない人への配慮が必要だと思います。(32歳、銀行員)

ホームページでも通常の法律で裁かれるべきものである。よく、言論の自由や検閲の問題と一緒に議論されるが、それは手段の問題であり、結果の正当性を主張できるものではない。たとえば郵便で麻薬を送ったとき、郵便を封閉することは通信の自由を侵すがだれも麻薬そのものや麻薬の郵送を取り締まるべきではないとは言わないだろう。つまり、取り締まりの手段が問題なのであり取り締まりそのものが問題なわけではない。もっとも、ポルノは取り締まりそのものに問題はあるが、それは別次元の問題。(33歳、会社員)

YES 賛成意見から

反対意見から NO

ホームページは出版物ではないし、プロバイダーは出版社ではない。日本のホームページに日本の法律を適用するのはおかまなしだが、ホームページの法律上の扱いをはっきりさせることとホームページはプロバイダーから完全に独立したものでプロバイダーは自社会員のホームページの内容に責任をとる必要がないことは明示されるべきである。(32歳、フリーライター)

若年層のユーザーにアクセスできないようにするなどの配慮をすれば問題ないと思う。コンビニや書店で未成年にもわいせつな書物が購入できることを問題としないで、インターネット上の映像のみを規制の対象とするのは筋が通らない。(23歳、学生)

個人で楽しむのであれば規制は必要ないと思う。ただし、わいせつ画像が反乱しすぎていることも確かだと思う。(30歳、会社員)

仮に取り締まるとしてもプロバイダーを規制するのはまさしく言論統制であり、時代に逆行する。わいせつ論争は警察と発表する個人との問題である。(53歳、会社員)

ホームページ自体は日本国内向けのみ開設されていない以上、そのデータがわいせつかどうかの判断は世界中の一番規制のゆるいものが判断材料とされるべきだ。(35歳、会社員)

放送や出版もそうだけど、上からの規制と自らの規制は違うと思う。それこそ時間帯を決めて、画像を差し替えれば問題はなくなるのでしょうか？(23歳、学生)

完全に取り締まることは不可能だと思います。(31歳、主婦)

本人の自由意志でアクセスしているかぎり、わいせつ画像を見る/見ないは本人の自由意志だ。子供に見せたくないのなら、それは各端末で処理すべき問題だ。(24歳、ソフトウェア技術者)

もし逮捕された彼のホームページがアメリカのサーバー上にあつたら警察はどうしたのだろうか？日本人向けにわいせつ画像を販売するサーバーや、賭博を提供するサーバーが存在するが、サーバーが国内にないというだけで大手をふって営業しているのをどう感じているのかぜひ聞いてみたい。(32歳)

次のテーマ 在日米軍は必要だと思いますか？



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp